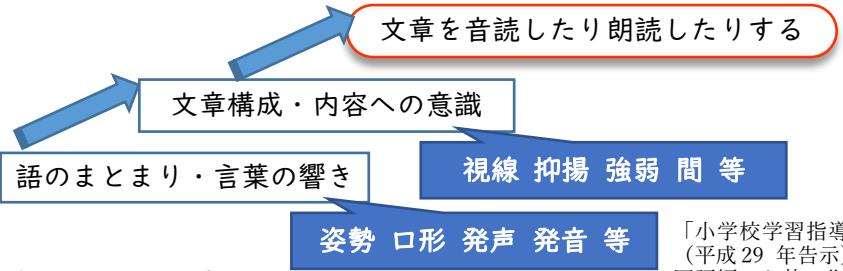


「できている」をすくいあげる

校長 佐伯 孝司

「校長先生も、廊下から拍手をしてくれているよ。」私が見ていることに気付いた児童が、そう言いながら目を合わせて微笑んでくれます。私は、ある教室から見えた児童の姿に釘付けになっていました。物語の音読の授業。担任が示す音読の工夫のポイントを踏まえ、よりよい読み方を考えて一生懸命に表現しようとする姿に、思わず拍手を送っていたのです。また、児童相互にも拍手を送り合い、廊下まで響いていました。音読発表に向けての練習の途中でもあり、音読の工夫もまだ途中です。それでも児童たちは、自分の、自分たちの読みが変わっていく手応えを感じながら、練習しているようでした。

「音読ができる」までには、右に示すようなポイントをクリアする必要があります。たくさんのポイントを同時に表現することが求められます。一朝一夕にはできません。先ほどの教室の児童たちは、このような小さなステップを着実に上がっていくように粘り強く頑張っていたのです。

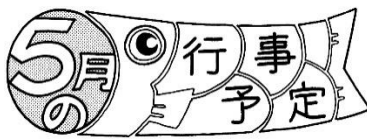


「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編」を基に作成

何かを学ぶとき、通常は、「できる」状態になるまでは、まだ「できない」状態が続きます。「できた」と思える状態に到達するまでには時間がかかります。目標にしたことができている自分と向き合う時間は、意外に長いものです。学校での子供たちは、そういう時間を過ごしています。この時間を前向きに過ごしていくには、「できない」ではなく、「できている」と思う時間を意図的につくっていくことも大切です。

大きな目標「音読ができる」に十分に到達していないことを自覚しながらも、そのためのステップとして「ここまでできている」「できていることがある」ということを感じながら、着実に「音読ができる」自分に近付いていることも自覚し、粘り強く前に進んでいくことができればよいと思います。私たち大人には、できていない現状を嘆くよりも、できているところをすくい上げて伝えること、目標に向かって頑張ろうとする気持ちに共感することも、大切なことです。抑揚が不十分であっても、「リズムがいいね」「間の取り方がいいね」という評価は可能です。語のまとまりや響きを意識してリズムよく読める状態からさらに「音読ができる」という目標に近付くには、音の高低に着目して抑揚への意識を追加するとよいことに気付かせること、児童がそこに向かう気持ちに共感して支えることができればと思います。

こうして「できる」に向かう粘り強さ、「ここまでできている」ことを見付け合って拍手を送り合うやさしさ、小さなステップを自覚し着実に上がっていくかしこさ。この過程が、本校の教育目標である「やさしく」「つよく」「かしこく」の実現につながると考えます。今月も、コロナ禍での様々な工夫が求められますが、できることを考え取り組んでまいります。



- 生活目標：きまりを守って生活しましょう。
- 保健目標：体の調子を整えましょう。
- 給食目標：時間を意識して正しい姿勢で食事をしましょう。
- 【校庭開放】今月はありません。
- 【まなび〜】14日、28日(15:00〜)

日	曜	予定
6	木	安全指導 1年:通常授業始
7	金	オンライン授業(2,4,5年,つくし)
10	月	避難訓練
11	火	尿検査2次 オンライン授業(1,3,6年)
12	水	尿検査2次追加 1年・抽出児:心臓検診
13	木	体育朝会
14	金	つくし:連合遠足 1~3年:歯科検診
17	月	心臓検診追加
18	火	個人面談① 全校5時間授業 下校 14:20 4~6年・つくし:歯科検診

日	曜	予定
19	水	委員会活動
20	木	児童集会 個人面談②(全校5時間授業)
21	金	個人面談③(全校5時間授業) 下校 14:10
24	月	個人面談④(全校5時間授業)
25	火	個人面談⑤(全校5時間授業) 5,6年:セーフティ教室
26	水	クラブ活動 通学路パトロール 15:30
27	木	6年:全国学力・学習状況調査
28	金	
31	月	体力テスト始 全学年:眼科検診